

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【公開番号】特開2006-115921(P2006-115921A)

【公開日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【年通号数】公開・登録公報2006-018

【出願番号】特願2004-304375(P2004-304375)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

G 0 6 T 3/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/00 D

A 6 1 B 5/00 G

G 0 6 F 17/60 1 2 6 G

G 0 6 T 3/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月28日(2007.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

医師の診断に必要な医用画像を表示する表示手段と、

前記医用画像に対して診断支援プログラムを起動して解析を行なう解析手段と、

前記表示手段に表示中の前記医用画像について医師の診断が終了したことを示す付加情報の存在を認定した後に前記医用画像に対する前記解析手段の解析結果を前記表示手段に表示させる制御手段と

を備えたことを特徴とする診断支援システム。

【請求項2】

請求項1に記載された診断支援システムにおいて、前記制御手段は、前記解析手段の解析結果を表示した医用画像と前記診断終了後の医用画像とを並列に表示することを特徴とする診断支援システム。

【請求項3】

請求項1に記載された診断支援システムにおいて、前記制御手段は、前記解析手段の解析結果を表示した医用画像を前記診断終了後の医用画像に重ね合わせて表示することを特徴とする診断支援システム。

【請求項4】

請求項1、2又は3に記載された診断支援システムにおいて、前記制御手段は、医師のサインが存在するか否か、医師が作成したアノテーションが存在するか否か、前記医用画像の表示時間が所定値以上であるか否かを前記付加情報とし、これらの付加情報の少なくとも一つに応じて前記医用画像について医師の診断が終了したことを認定することを特徴とする診断支援システム。

【請求項5】

請求項1、2、3又は4に記載された診断支援システムにおいて、前記制御手段は、前記解析手段の解析結果と前記医師の診断終了後の結果に応じて異常部位の特徴量を抽出し

、その特徴量を前記診断支援プログラムの解析処理に反映させることを特徴とする診断支援システム。